

第13回(2017年度)こども環境学会賞 公募のお知らせ

こども環境学会では、こども環境に関する優れた研究、デザイン、活動業績などを顕彰し、それを広く公表することによって、こども環境の改善に資することを目的として、「こども環境学会賞」を2005年に創設いたしました。賞は、論文、デザイン、活動の3部門とし、部門ごとに3件以内の表彰を予定しています。表彰式は総会の席上で行い、賞状等を授与いたします。また学会誌等に紹介するなど広く社会に公表することといたします。

今年度の公募期間は、**2017年10月31日(火)**締切(消印有効)といたします。多くの会員の皆様のご応募をお待ちしております。

2017年6月 こども環境学会会長 五十嵐隆

こども環境学会賞・応募要項

1. 目的

こども環境に関する優れた研究、デザイン、活動業績などを顕彰し、それを広く公表することによって、こども環境の改善に資することを目的とする。

2. 名称および賞の対象

(1) こども環境論文・著作賞

近年中に完成し雑誌などに公表された研究論文および出版公表された著書・著作であって、こども環境学の進歩に寄与する優れたもの。

(2) こども環境デザイン賞

近年中にデザインされた環境作品(建築・ランドスケープ・インテリア・遊具・家具・グラフィックその他)であり、こども環境学的見地からも高い水準が認められる独創的なもので、こどもの育成に資することが認められるすぐれた環境デザイン。

(3) こども環境活動賞

こども環境に寄与する、上記以外の活動(施設運営・行政施策・社会活動・その他)であって、近年中に完成した業績および継続的な活動によってその成果が認められた活動。

※各賞について必要に応じて、奨励賞を設ける。

3. 審査の対象

(1) 会員の応募に限る。

推薦規定：1名の会員の推薦を求める。

応募時に入会も可能とする。

4. 審査の資料

- (1) 応募および推薦書(別紙書式)
- (2) 候補論文：3部提出。(論文・著作賞のみ)
- (3) 概要説明資料(A3サイズ)3枚以内、3部提出。(デザイン賞のみ)

- (4) 活動業績報告書：3部提出。A4版を基本とする。(活動賞のみ)
- (5) その他関連資料：応募者・推薦者が賞の選考に必要と判断したもの。
- (6) 審査の必要上さらに詳細な資料の提出を求めることがある。
- (7) 審査の資料の作成費は応募者の負担とする。

5. 選考とその時期

選考は、本会に設置する「こども環境学会賞選考委員会」が行い、理事会がこれを決定する。委員長および委員は本学会会長が委嘱し、その任期は2年とする。

デザイン賞、活動賞の選考に当たっては、1次審査、2次審査を行い、現地審査を行うこともある。

10月末までに応募・推薦を締め切り、11～翌年2月に選考を行い、翌年2～3月の理事会で決定し、3月末に発表し、翌年度4～5月の総会で表彰する。

6. 表彰と公表

表彰式は来年度総会の席上で行い、賞状等を授与する。また学会誌等に掲載するほか広く社会に公表する。

7. 表彰件数

各賞ごとに厳選を旨とし、3件以内を基準とする。

8. その他の共通事項

- ① 適当な業績がなければ表彰しない場合もある。
- ② 過去3年以内に同一部門の業績で受賞した者への重賞は避ける。
- ③ 賞を受ける者は個人が原則であるが、個人を特定しがたい場合は組織等を表彰する場合がある。
- ④ 表彰する業績の名称および賞を受ける者は、選考の結果、候補推薦書と異なる場合がある。
- ⑤ 受賞者には大会時などに紹介用の展示パネル等を作成していただく場合がある(作成費は受賞者の負担とする)。

詳細は、学会ホームページをご覧ください。事務局へお問い合わせ下さい。

こども環境学会 事務局

〒106-0044 東京都港区東麻布3-4-7 麻布第1コーポ

TEL: 03-6441-0564 FAX: 03-6441-0563

<http://www.children-env.org/>

Mail to: info@children-env.org

2017 年度こども環境学会賞・応募および推薦書

1. 表題

和文 表題	
英文 表題	
※論文賞については、著者名、発表雑誌名、Vol. pp～pp、発表年をこの欄に記入のこと。	

2. 応募する賞の種別 (該当種別を○で囲う)

1 論文・著作賞	2 デザイン賞	3 活動賞
-----------------	----------------	--------------

① 論文・著作賞

近年中に完成し発表された研究論文および著作出版物であって、こども環境学の進歩に寄与する優れたもの。

②デザイン賞

近年中にデザインされた環境作品(建築・ランドスケープ・インテリア・遊具・家具・グラフィックその他)であり、こども環境学的見地からも高い水準が認められる独創的なもので、こどもの育成に資することが認められるすぐれた環境デザイン。

③活動賞

こども環境に寄与する、上記以外の活動(施設運営・行政施策・社会活動・その他)であって、近年中に完成した業績および継続的な活動によってその成果が認められた活動。

3. 提出資料

資料名称	部数

審査資料

- ①応募および推薦書(本書式)
- ②候補論文: 3部提出。(論文賞のみ)
- ③概要説明資料(A3サイズ)3枚以内、3部提出。(デザイン賞のみ)
- ④活動業績報告書: 3部提出。A4版を基本とする。(活動業績賞のみ)
- ⑤その他関連資料: 応募者・推薦者が賞の選考に必要と判断したもの。
- ⑥審査の必要上さらに詳細な資料の提出を求めることがある。
- ⑦審査の資料の作成費は応募の負担とする。

4. 応募者

	氏名	会員番号
代表者	印	
共同者1		
共同者2		
共同者3		
共同者4		
共同者5		

※応募代表者が会員である必要がある。(応募時の入会も可能とする)

5. 応募代表者連絡先

住所	〒	
所属		
氏名		
Tel/Fax	Tel	/ Fax
E-Mail		

6. 推薦者

	氏名	会員番号
推薦者	印	
推薦のことば		

※ 1名の会員の推薦が必要。推薦者に心当たりがない場合には、事務局へご相談ください。

7. 主旨説明

ご応募される論文、デザイン、活動等の概要とご応募にあたってアピールする点を記述して下さい。

【応募論文・デザイン・活動等の概要】

【アピールする点】

第12回(2016年度)こども環境学会賞

こども環境 論文・著作賞

《論文・著作賞》

安部芳絵(工学院大学)
「災害と子ども支援-復興のまちづくりに子どもの参加を」

《論文・著作奨励賞》

鮫島良一、馬場千晶(鶴見大学短期大学部)
「保育園・幼稚園の造形あそび」
池亀直子(秋田公立美術大学)
「芸術表現を媒介とし知的障害児の生活環境理解」

こども環境 デザイン賞

《デザイン賞》

相坂研介(相坂研介設計アトリエ)
「あまねの杜保育園」
山下秀之(長岡造形大学)、木村博幸、江尻憲泰
「川通どれみ保育園」

《デザイン奨励賞》

浅野言朗(浅野言朗建築設計事務所)、柴村豊土、小須田誠
「3つの立方体~移動可能な遊具の提案~」

納谷学、納谷新(納谷建築設計事務所)

「昭和女子大学附属 昭和こども園

山崎俊裕(東海大学)、寺川典秀(意匠院)

「南小中台保育園」

こども環境 活動賞

《活動賞》

榎重善(横浜市青葉区青葉土木事務所)
「えんやこら 学校環境を考える会(教員、保護者と協働で進める校庭改善活動)」

金由貴子(札幌市公園緑化協会)ほか

「西岡ヤンマ団~子ども達のトンボ調査と環境保全」

《活動奨励賞》

花崎みさお(野の花の家)ほか

「児童養護施設『野の花の家』を中心とした一連の児童福祉の推進」

鈴木悦朗(小金引前倶楽部)ほか

「小金わくわく探検隊」

武藤陽子(冒険遊び場の会)ほか

「国分寺市プレイステーションおよび出前プレイキッズの活動」

第11回(2015年度)こども環境学会賞

こども環境 論文・著作賞

《論文・著作賞》

千代章一郎(広島大学)
「歩くこどもの感性空間みんなのまちのみがきかた」

山崎健太郎(山崎健太郎デザインワークショップ)

「はくすい保育園」

こども環境 デザイン賞

《デザイン賞》

大野秀敏、江口英樹(アプルデザインワークショップ)
「はあと保育園」

《デザイン奨励賞》

藤田大輔(福井工業大学)、青木一実(atelier-fos 一級建築士事務所)
「ささべ認定こども園」

《デザイン奨励賞》

こども環境 活動賞

《活動奨励賞》

大影佳史(関西大学)、沢井史恵(てんぱくプレーパーク)
「てんぱくプレーパーク「プレーパウス」

西分健二(東川第二小学校)

「キトウシ森林公園探検ガイドづくり」秦賢志(はまようちえん)、寺地洋之(大阪工業大学)、

常深大輔、淵上佳子(アークアンドトーク)

「はまようちえんの新園舎・園庭環境」

第13回(2017年度)こども環境学会賞審査委員(予定)

こども環境論文・著作賞 選考委員:

委員長:高橋勝(横浜国立大学名誉教授・教育哲学)、委員:織田正昭(福島学院大学教授・国際保健)、河原啓二(姫路市医監/保健)、住田正樹(放送大学名誉教授・発達社会学)、仙田満(東京工業大学名誉教授・環境建築学)、福岡孝純(日本女子体育大学招聘教授・スポーツ環境)、矢田努(愛知産業大学教授・建築学)

こども環境デザイン賞 選考委員:

委員長:石井賢俊(NIDO・プロダクトデザイン)、委員:及部克人(武蔵野美術大学名誉教授、デザイン)、佐久間治(九州工業大学教授・建築学)、定行まり子(日本女子大学教授・住居学)、仙田満(東京工業大学名誉教授・環境建築学)、竹原義二(摂南大学・無有建築工房・建築家)、千代章一郎(広島大学准教授・建築学)、福岡孝純(日本女子体育大学招聘教授・スポーツ環境)、松本直司(名古屋工業大学名誉教授・建築学)

こども環境活動賞 選考委員:

委員長:神谷明宏(聖徳大学准教授・児童学)、委員:井上美智子(大阪大谷大学教授・幼児教育)、北方美穂(日本フィンランド教会事業推進委員)、小澤紀美子(東京学芸大学名誉教授・住環境教育、まちづくり教育)、四釜喜愛(食と森の保育園しかま副園長・幼児教育)、宮本照嗣(市民参加まちづくりパートナー)、吉永真理(昭和薬科大学教授・発達心理)